

〔国際会議開催〕

申請者	東京大学 教授 下山 勲	2155011
国際会議名称	国際マイクロマシンサミット	
開催期間	2016年5月25日～5月27日	
開催場所	ハイアットリージェンシー東京（東京都新宿区） つくば（TIA）地区	
申請者の役割	オーガナイザー， Japan 団長， General Chair	

概要：

国際マイクロマシンサミット（以下 MM サミット）は 1995 年にマイクロマシンセンターが提唱して始まり、その後は毎年継続されている国際会議です。通常の学会と異なり、各国の代表が産業や科学技術政策を議論することが特徴になっています。日本での開催は、第 1 回の京都、第 6 回の広島、今回が 3 回目になります。

今回のテーマは、「高齢化社会におけるセンサ・MEMS」であり、健康・医療やライフスタイルに対応するマイクロシステムに関する話題でした。参加者は世界 16ヶ国のデリゲート 51 名、発表は 44 件でした。プログラムは、カントリーレビューと呼ばれる各国デリゲートの代表者による状況報告が 3 セッション、健康・医療応用が 3 セッション、IoT 関連と MEMS 産業化がそれぞれ 1 セッションでした。海外の状況では、Benelux からはフォトニック結晶と MEMS を組み合わせた機能デバイスとそれらの医療応用、EC からはデジタル化やスマート化による産業の変革、フランスからは極めてファインなシリコン共振器を用いた高精度センサと医療応用、イベリアからは PDMS デバイスの医療応用とナノテク発電素子等、イタリアから医療に使う様々なカプセルとマイクロロボット技術、日本からはインフラスマートセンシング技術、スイスからは最先端の MEMS とスマート時計、米国からはロードマップや NIST、また各セッションでは世界中で研究開発されている最先端の活動報告がありました。MM サミットは「マイクロ化の世界スナップショット」と言われ、2 日間で世界の状況が理解できる意義のある会合でした。次回（2017）の開催場所はスペインに決定されました。